

雨上がりの園庭での泥遊びや博士に教えてもらった泥団子作り。幼児は水・砂・土・泥と出会い、自分から関わることで遊びが変化していく楽しさを知っています。「やってみたい」と思って取り組んだ遊びが友達とイメージが重なり、共通のものになって、共に遊びを進める姿になっていきます。

★ 水の道を作ろう

最初は砂をスコップで掘って水の道を作ろうとしていました。掘り続けることに疲れたり、砂が水を吸い込んで流れなかったりと思うように遊びが進みません。



幼児の思い



- ・水の道を作ってみよう
- ・砂場いっぱい水の道を作りたい

保育者の願い



- ・自分がイメージするものを伝え合い、友達と一緒にイメージの実現に向けて考えて遊びを進めてほしい

自然との関わり・
生命尊重



樋を発見！



昨年度の年長児が樋を使い、道を作って遊んでいたことを思い出した子ども達！樋を出してきて、繋げ始めました。

道徳性・
規範意識の
芽生え

自立心

繋げよう！



言葉による
伝え合い

思考力の
芽生え

豊かな感性と
表現

協同性

さあ、水を流してみよう！
でも、水が漏れているところを発見！水が漏れずに流すために試行錯誤を繰り返しながら遊んでいます。

こんな遊びも…



アリが水に濡れないようにの橋を作ったよ



アリの階段



ダンゴムシの橋も作ろう

水や砂の感触を楽しむだけではなく、自分がイメージするものを作るために試行錯誤をする姿が見られました。クラスのみならず一緒に同じ遊びをすることで、「ぼくは水を流すね」「私は穴を掘るよ」等と役割分担をし、言葉のやりとりをしながら遊ぶ姿に繋がりました。また友達の遊び方や表現方法を見て真似をして自分の遊びに取り入れたり、相手の気持ちややりたいこと等を受け入れたりして、友達のことを認め合い、遊びを進めていく姿になりました。

樋を繋げて水を流し、水の道作りを楽しんでいた子ども達。もっともっと長くしたい、と思いが出てきて、長く繋げるための方法や樋の留め方を毎日、試行錯誤するようになってきました。



高く、斜めにしないと水は流れない、と気付いた子ども達は、園庭の大きなタイヤや台を積み重ね、その上に樋を繋げていくことにしました。



途中で水が漏れてしまわないように、ガムテープで樋を留めています。



繋げて繋げて、



健康な心と体

思考力の芽生え

こーんなに長く繋がって畑まで届いたよ！

数量・図形、文字等への関心・感覚

★ 夏野菜の畑に水をやろう！



ガムテープでしっかり留めるよ

協同性

トライやる中学生にも手伝ってもらったよ



幼児の思い



保育者の願い

・樋を繋げた水の道で夏野菜に水やりができれば楽しいね。
・もっと遠くの畑まで水やりができるように樋を長く繋げたい。



社会生活との関わり

・夏野菜の畑まで水やりをしたいと遊びの目的を幼児同士で共有し、目的達成に向け試行錯誤して、遊びの過程を楽しんでほしい。



もっともっと高く！スタートを木の上にして、大きなタイヤをいくつも重ねて、樋が斜めになるようにしたよ。

ぼくのカボチャまで水が届くように、

自立心



言葉による伝え合い

水、来ているよ！
ぼくがここで、みんなに教えてあげる！

自分達の夏野菜まで水を流したい、という共通の目的に向かってクラスみんなで取り組む姿が見られました。その様子を見ていた3、4歳児もガムテープで樋を繋げたり、水を流したりする楽しさを感じ、遊びの輪に加わっていきました。一緒に遊ぶ中で、「今度は3、4歳児も楽しめる樋の水流しを作ろう」と目的が変わり、遊びを進める楽しさを感じていました。